

第 1 部

死の テキスト



第1部

地球を救う霊的常識 3

SPIRITUAL COMMONSENSE

第1章

「死」とは何か？



臨死体験研究の限界

—— 死とは何かという問題は、最近では臨死体験の研究からクローズアップ
されているようですが。

「死」ということについて、皆さんの関心が以前にも増していることは大変結構なことです。臨死体験はたしかに心霊研究から言うと、死後の世界をかいまみたという状況で、もう一度肉体に戻っているわけですから、そういう意味では死というものを知る上で、新しい問題を提起したものですから歓迎しています。ただ一面で、脳生理学者だとか権威をもっている学者の方々が、それは死後の世界を見ているのではない、単なる脳細胞の一種の現象であるというふうなかたちで説明をしたりする

ものですから、せっかくの臨死体験の研究というものが、死後の世界を人々に解明してみせるというところまでいかないんですね。なにしろ生きている人の、生きて戻ってきた経験だから、脳内の一種の現象だとか幻影、錯覚だとかいうふうにとらえられてしまうので、それが非常に残念です。

そこにいきますと、死後も霊魂は残るんだということを言うためには、霊魂の研究を科学的にとらえた心靈研究というものの比重が、ものすごく大きいわけです。心靈研究によりますと、死の瞬間の現象やその状況、また死後の世界の状況までが死者の口を通じて、これはつまり霊媒の口を通じるわけですが伝えられてきている。それを科学的にとらえているわけですから、だから何と言っても死後の生存を正確に知る、はっきりと知るといふ点では心靈研究によってみるということが、非常に重要な

ことだと思っています。それによって本来の正しい死というものが理解できると我々は考えています。



心霊研究の方法

—— 心霊研究は死の状況、死後の世界の状況を、死者の霊界通信によって研究してきたのですか。

一つはそうですね。たとえば『ジュリアの音信』というものは、死の瞬間から死の直後の状況を



『ジュリアの音信』
でくのぼう出版発行
1,100 円（税込）

生々しく、ジュリアという死者の靈魂から靈能者ステッドを通じて伝えられてきていますね。

そればかりではなくて、靈視能力者たちが死の瞬間ですね、すなわち肉体から魂が分離する瞬間を靈視してその状況を伝えたものがありますから、それも強力な一つの資料だといえます。

—— 心霊研究ではそれらの資料や研究によつて、かなり明確に死について解明されているのでしょうか。

たくさんのすぐれた実例、実験がありますから、それらをたくさん寄り集めて総合して、統一的な死の現象についての原理法則までもわかっております。ですから心霊研究でみるのが、死については最も正しく明

確に知ることができますね。



すぐれた霊界通信

—— 私たちが読むことの出来るすぐれた霊界通信といえますと、どんなものがありますか。

そうですね。『ジュリアの音信』は世界の何十カ国の国々で翻訳された、すぐれた信憑性のある通信です。この中に死の現象、死の直後の様子、死後の情況が、ジュリアという聡明な女性の手記を通じて生々しく語られていますから、非常によく状況を知ることが出来ます。